

### Ⅲ. 管理的対策で困っていることは？(ITで支援できそうなこと)

設備対策後もリスクが残り、管理的な対策(人間の注意力に依存)をすることになりますが・・・  
 実際はいろいろな問題に直面しますし、人間の注意力や緊張維持には限界があります。



作業前に、正しく安全な作業手順を作ろうとしますが、過去の教訓やノウハウがなかなか見つからず、安全ポイントや法遵守項目が漏れる



作業現場に標準書やマニュアル図面などを抱えていくのも大変だし、マニュアルを持参しても、見ながらだと両手が自由に使えない。確認不十分でつい「だらう作業」をしてしまう。



新人担当者

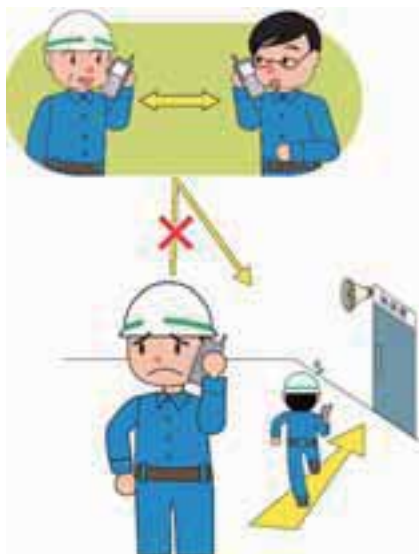


事務所

電話で問い合わせるも、マニュアル確認に手間取ったり、現場の様子が伝わりにくく、誤操作などを招く



設備点検で、紙での記録簿をたどっても故障の予兆がつかみにくいところへ、似たような設備を取り違えて点検したりして、故障未然防止ができず、危険な復旧作業を招く



作業連絡をとりたいのに話し中で割り込めず、一斉放送マイク箇所は遠いしイライラ。連携が取れない。緊急連絡ができず危険退避が遅れる。



現場事故状況をあわてて音声で説明するが受け側は違うイメージで受け取り、誤った指揮や、迅速な復旧ができず危険が拡大



危険標識を見落としてうっかり、または危険であることを知らずに危険に接近、侵入する。許可された作業員なのに警報が鳴るのでOFFにしてしまう。



作業員は現場騒音で危険な機械の接近に気がつかず接触。クレーンやフォークリフトの運転者からは、歩いている作業員が死角に居て気がつかず接触事故

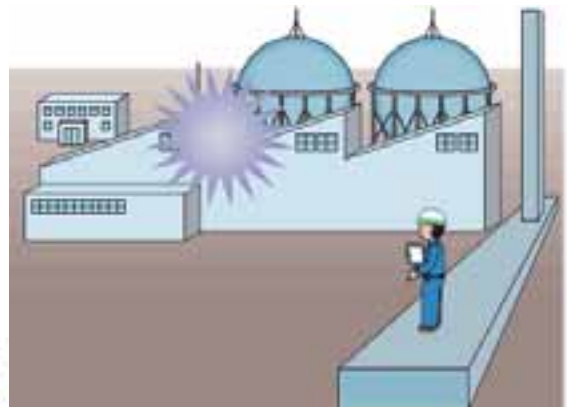


危険な場所で、防護柵などをふくめ設備対策はしているが、トラブル時には製造設備稼働中のままでやむなく立ち入る作業で、挟まれる領域について手足を入れてしまい被災。現場は光電管などの侵入センサーを設置しにくいので注意力しかない

鉄鋼や石油化学、造船などでは、広大な領域での一人作業があり、トラブルに遭遇することがある



一人で点検や復旧作業に出かけてかなりの時間になるが、連絡がつかない。探しに行くが、どの辺にいるのか？倒れていても救出が遅れる



ガス漏れ爆発火災などの緊急事態では、電源や通信インフラがダウンし、現場状況の把握や、緊急避難指示や現場での適切なアクションの指示が困難になる